

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	スピードファム株式会社新社屋	階数	地上2F
建設地	綾瀬市大上4丁目139-1,140	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	122 人
気候区分	6地域	年間使用時間	378,000 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年8月24日
敷地面積	7,339 m ²	作成者	株式会社梓設計
建築面積	3,304 m ²	確認日	
延床面積	5,704 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	96%
③上記+②以外の	96%
④上記+	96%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺環境との調和、事務所としての機能性を考慮したスタイリッシュな新社屋の実現	その他 0
Q1 室内環境	快適な業務環境を行うために、機能性を重視した計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 建物高さ、壁面位置等、まちなみの調和に加え、緑化等により周辺環境を改善した。
LR1 エネルギー	建物外皮による熱負荷抑制に加え、自然エネルギーの有効利用(自然採光の有効な取入れ等)により、使用エネルギーを削減する計画とした。	LR3 敷地外環境 業務により発生する廃棄物等は、敷地内で処理した。
Q2 サービス性能	ゆとりのある空間の確保、設備の更新性等、将来の組織変動に柔軟に対応可能な計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	可能な範囲で、リサイクル材等を活用した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される